



第3回 G空間×ICT北陸まちづくりトライアルコンクール ～ 最終審査会 公開プレゼンでグランプリを決定 ～



G空間×ICTまちづくり推進部会
飯島部会長 挨拶



各校からアイデアを発表

北陸情報通信協議会は北陸総合通信局とともに、平成28年11月26日（土）、金沢工業大学において「G空間×ICT北陸まちづくりトライアルコンクール」の最終審査会を開催、学生やICT企業、自治体などから150名が参加しました。



優秀提案を表彰 ・ 写真は福井高専に
大藪副部会長からシビックプライド賞を授与



鹿田副部会長から講評

コンクールは、北陸3県の大学、高等専門学校などの学生を対象に、G空間情報（地理空間情報）とICT（情報通信技術）により自分たちの暮らしや社会を便利で革新的なものにするアイデアを募集したものです。

当日の最終審査会では、地域性、新規性・独創性、適合性、実現性から選定された優秀な5件を学生自らがプレゼンテーション、「G空間×ICTグランプリ」、「北陸総合通信局長賞」、「シビックプライド賞」及び「奨励賞」2件を決定しました。



発表した学生たちで記念撮影

○ G空間×ICTグランプリ
金沢工業大学 徳永研究室
「位置情報を持った無料傘貸し出しサービス
～コンビニアンブレラ～」

○ 北陸総合通信局長賞
金沢大学 都市防災ゼミ
「災害時における携帯端末を用いた避難共助支援
システム（EMSS）の提案」

○ シビックプライド賞
福井工業高等専門学校 辻野研究室
「G空間データを用いた地域総合防除のための獣害
対策支援～獣害のない里山づくりを目指して～」

○ 奨励賞（株）アイ・オー・データ機器
金沢工業大学 Smart City プロジェクト
「AND（アンド）～危険を知らせるリストバンド～」

○ 奨励賞（PFUビジネスフォアランナー（株））
富山県立大学 鳥山研究室
「一億人の日本地図『知図』の提案」